

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第173回

令和5年7～9月期 実績

令和5年10～12月期 予測

令和5年10月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨 この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約18,830企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
- 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象 (対象地区) 県内15商工会
祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北
(対象企業) 231社
製造業50 建設業42 小売業70 サービス業69
3. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間 令和5年7月～9月期実績、及び令和5年10月～12月期見通し
5. 調査時点 令和5年9月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。

DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運

DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運

例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。

「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満

「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満

「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. 表記基準 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

■ (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

■ 中国財務局 (中国地方の経済動向)

<https://www.chugoku.meti.go.jp/stat/keiki/index.html>

■ 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/273/1244079054510.html>

1.ポイント ※(独)中小企業基盤整備機構「第173回中小企業景況調査(2023年7-9月期)のポイント」より

・中小企業の業況判断DIは、3期ぶりに低下

全産業の「業況判断DI(前期比季節調整値)」は、前期(2023年4-6月期)から全産業で2.0ポイント減(▲12.8)と3期ぶりに低下。産業別では、卸売業で2.0ポイント増(▲7.3)、小売業で0.4ポイント増(▲21.7)と上昇、製造業で3.1ポイント減(▲13.5)、サービス業で2.3ポイント減(▲6.3)、建設業で1.6ポイント減(▲10.6)と低下。

来期見通しは、全産業で上昇、産業別では、建設業を除く4産業で上昇の見込み。

・小売業で売上単価・客単価DIがプラス圏に浮上

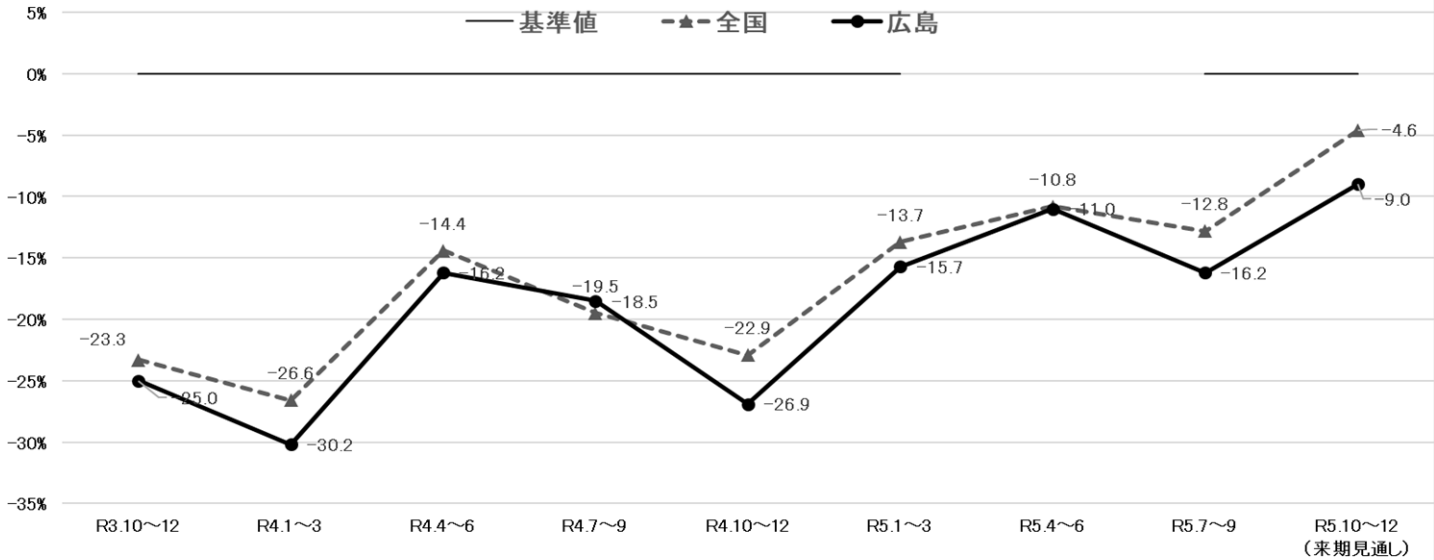
「売上単価・客単価DI(前年同期比)」は、小売業で約31年ぶりにプラス圏に浮上するなど、一定の価格転嫁が進んでいると考えられる。一方、「原材料・商品仕入単価DI(前年同期比)」は、小売業、サービス業で1980年の調査開始以来、過去最高値を記録、また、他の産業でも過去最高水準で推移しており、収益面で厳しい状況が続いている。

・経営上の問題点で経費の増加が課題

経営上の問題点の回答割合を見ると、エネルギー価格等の高騰により「人件費以外の経費の増加」、経済活動の正常化に伴い「人件費の増加」が上昇している。また「従業員数過不足DI(今期の水準)」は、不足感がコロナ前(2019年7-9月期)の水準に戻っており、不足感の強まりが人件費の増加に影響している可能性がある。

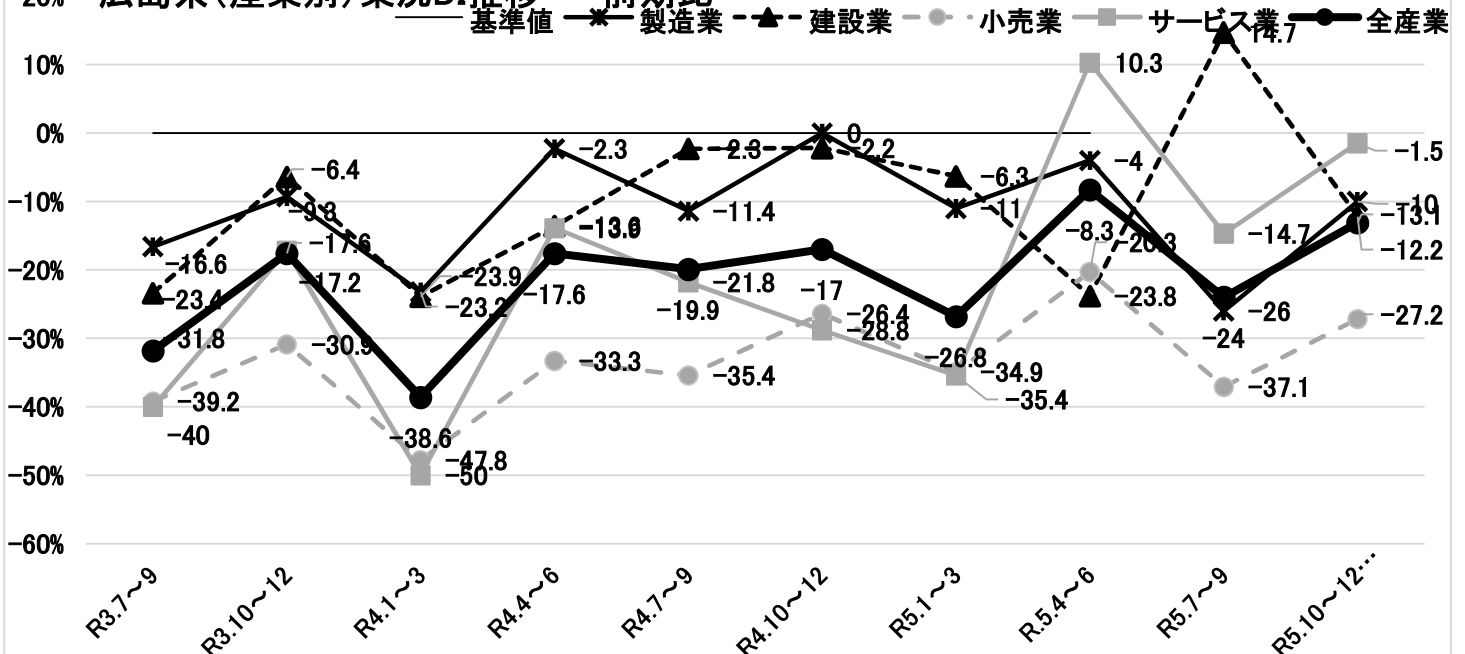
2. 広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。

広島県と全国(全産業)業況DI推移 ー前期比ー



3. 広島県(産業別) ※商工会地域のみ

広島県(産業別)業況DI推移 ー前期比ー



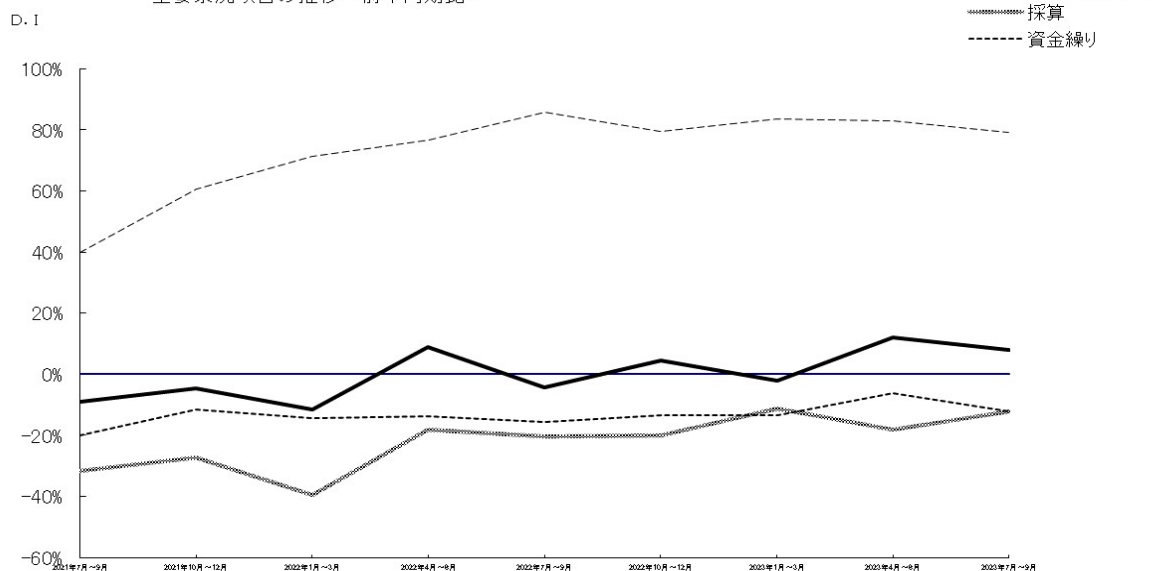
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

製造業 DI 主要項目	（前期）		（今期）		
	R5.4～6	R5.7～9	前期との比較	R5.10～12	今期との比較
売上額	12.2	8.0	↘	-10.0	↘
原材料仕入単価	83.0	79.2	↘	70.8	↘
採算	-18.0	-12.0	↗	-14.0	↘
資金繰り	-6.1	-12.0	↘	-8.0	↗

広島県 製造業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -



..... 企業のコメント

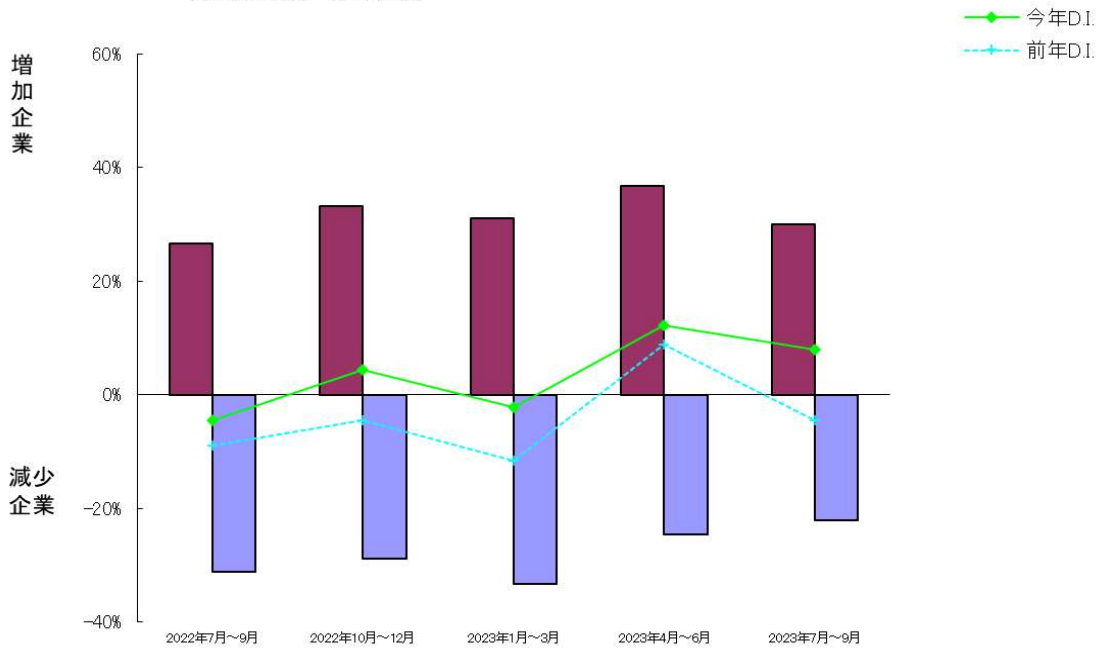
- ・ 受注減は業界的にあり、ここ数年のコロナ渦が原因ではなくなったと感じられる。インバウンド需要による受注増を期待しすぎてはいけないと感じる状況がある。価格設定も随時で可能にしたい様々な状況もある。
- ・ 仕事量は増加傾向にはあるが、従業員の確保が困難であり、雇用しても離職率が高く利益の確保に繋がらない。また既存従業員の高齢化も進んでおり、技術の継承も課題である。
- ・ 受注量、加工単価は上昇しています。しかし人手不足による生産が思うよう出来ない。今後人材をいかに確保することが急務である。
- ・ 原材料や燃料費、包装材料の副原料も価格が上昇し、商品の価格を再度検討しなければならないが、短期間での再値上げが厳しい。
- ・ 前年度に比べれば少しは改善したが、注文数が安定せず月々での波が大きい。
- ・ 今期は既に中間決算期となるが売上が伸びず苦戦している。恐らくメーカーの開発の動きが鈍いものと思われる。後半に向けて動きが見られるので期待したい。いずれにしろ厳しい期となりそうである。

製造業（商工会地域）

2.売上額（加工額） -前年同期比-

広島県 製造業

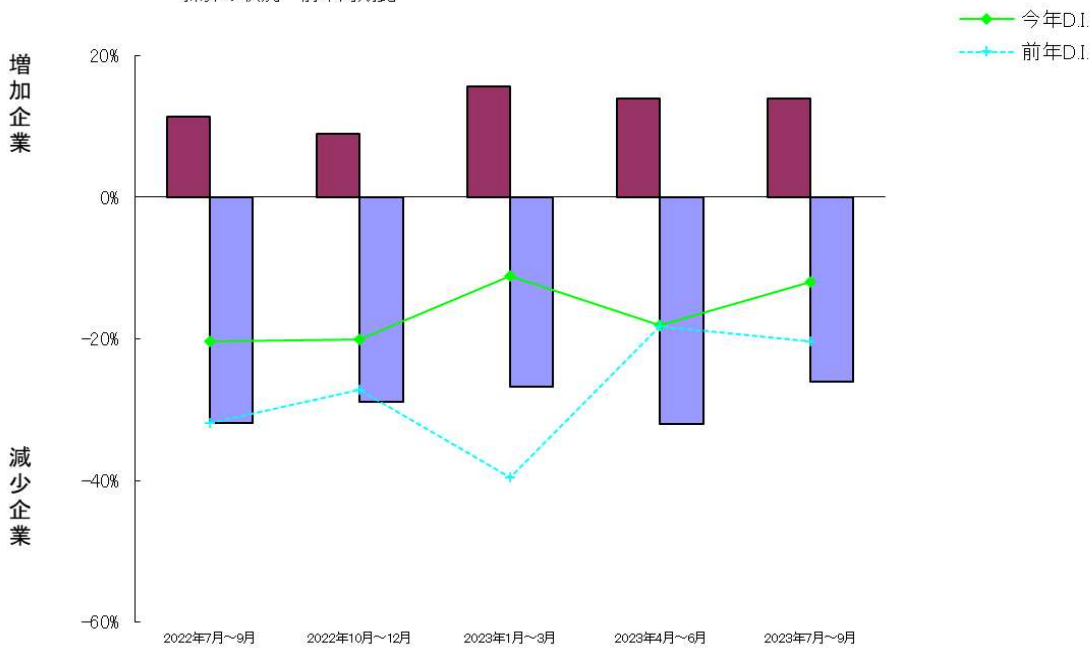
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

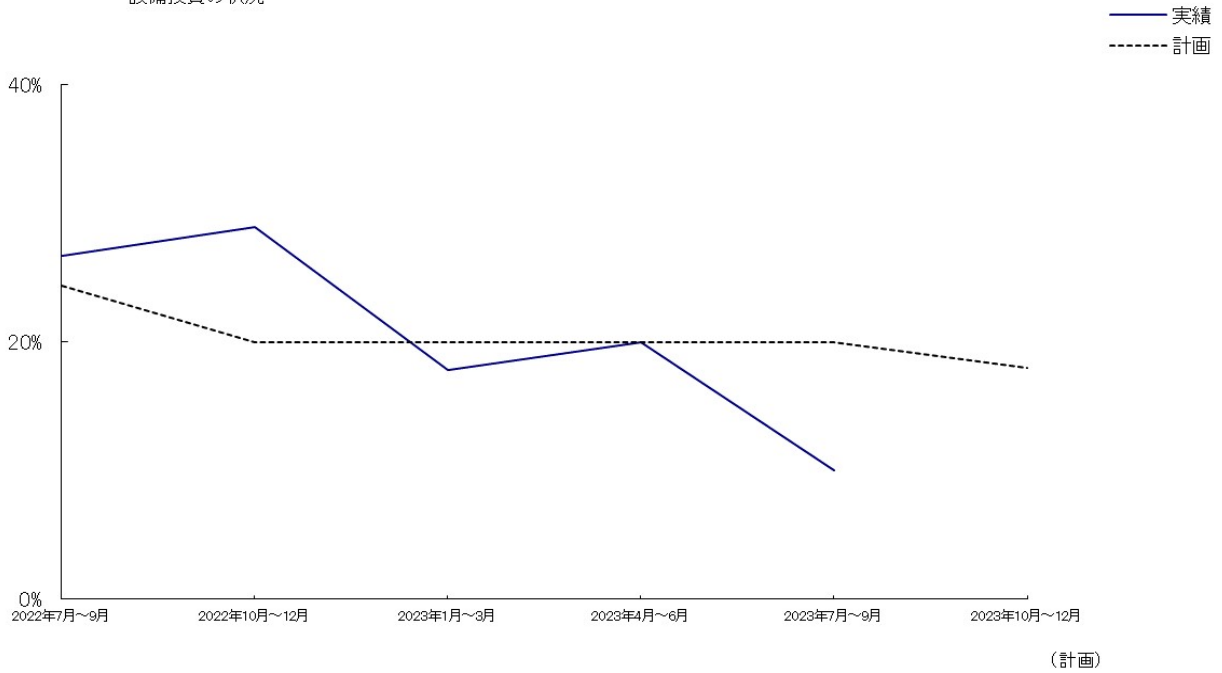
広島県 製造業

採算の状況 - 前年同期比 -



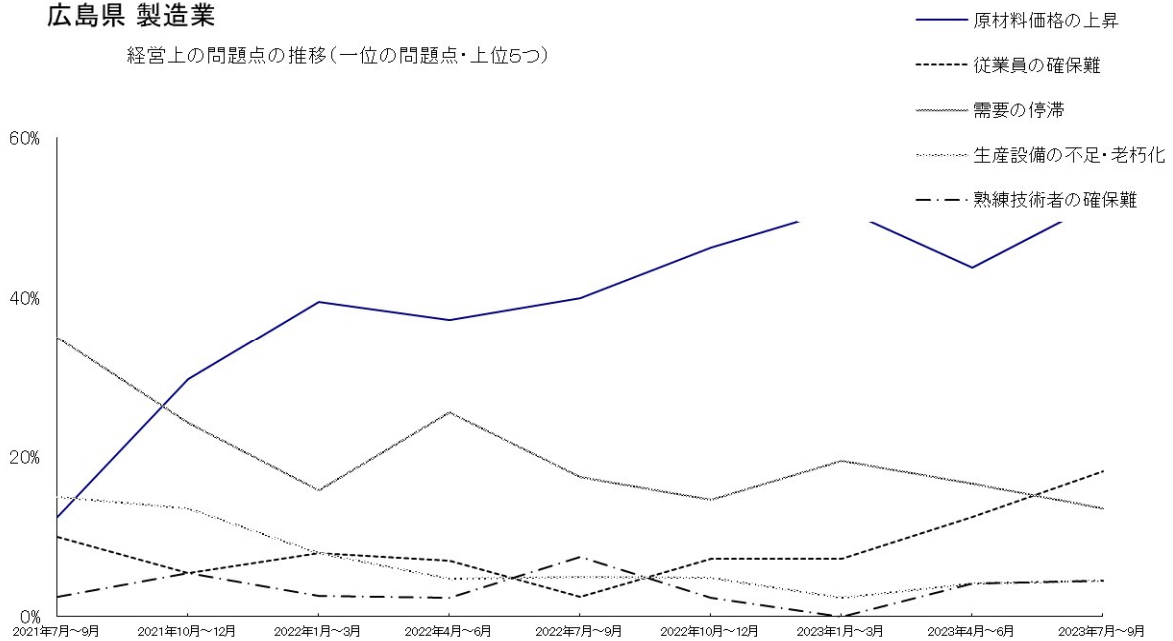
4.設備投資の状況

広島県 製造業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 製造業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



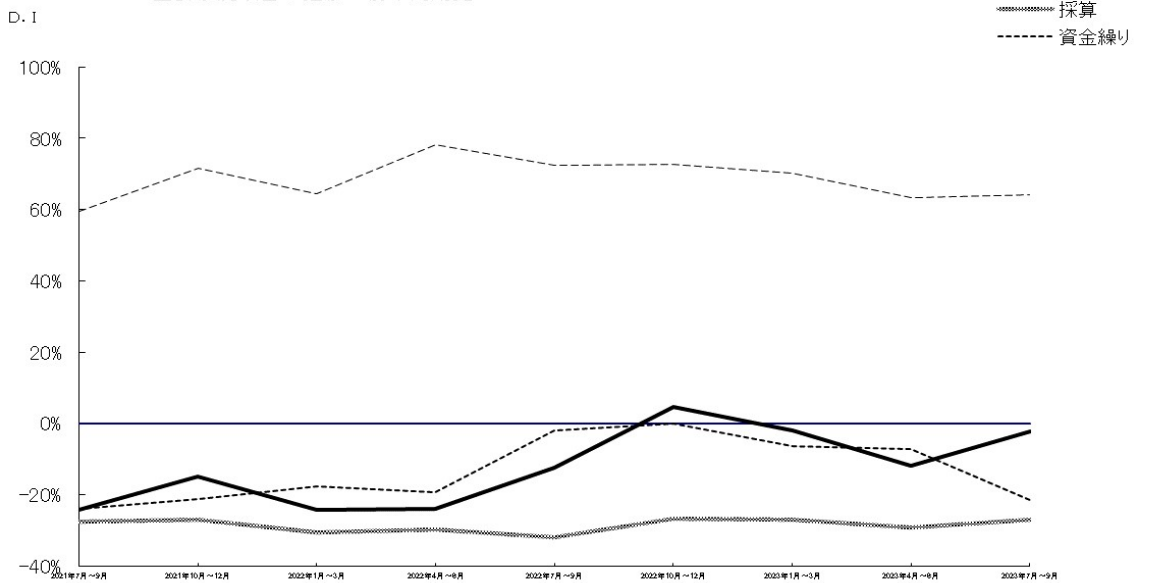
建設業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

建設業 DI 主要項目	建設業 DI		（来期見通し）	
	（前期） R5.4～6	（今期） R5.7～9	前期との比較	今期との比較
売上額 （完成工事額）	-11.9	-2.4	↗	↘
材料仕入単価	63.4	64.2	→	↘
採算	-29.3	-26.9	↗	↘
資金繰り	-7.3	-21.4	↘	↗

広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-



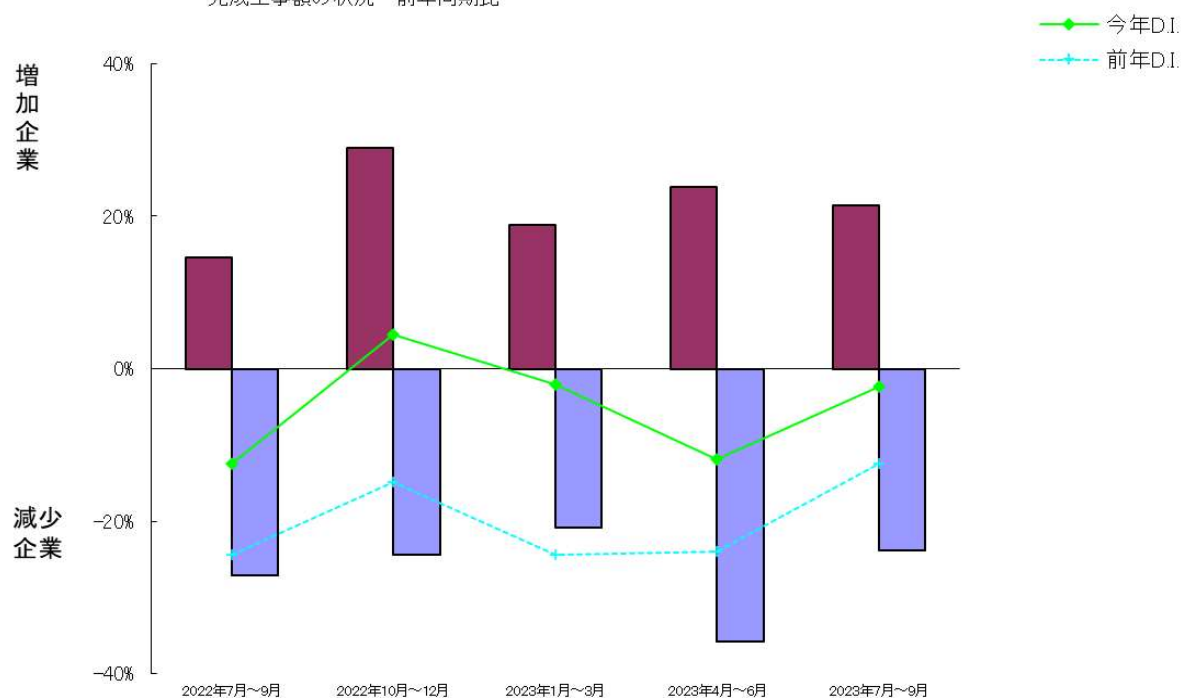
- 企業のコメント
- ・ 建設工事遅れる傾向にある。原因として考えられるのは人材が不足している。また、材料の入手難など、その他の影響も考えられる。
 - ・ 当社の事業内容は、主に水道設備等の設置や修理等ですので、特に景気などにも影響を受けることはなく業況は開業当初からあまり変動していない様に思います。
 - ・ 材料費や諸経費の上昇により利益がでないので、経営状態が悪い
 - ・ 業況は、特に変わりはない状況だが、材料価格の高騰はかなり影響すると考えている。販売価格への転嫁は避けて通れず、今後は今以上に厳しくなると予想でき、現状をどこまで維持できるか不安は大きい。
 - ・ 仕入れ価格の上昇が負担になっている
 - ・ 鉄構物業は殆どがJCからの受注なので経営は苦しさがあるが辛抱するしかない。

建設業（商工会地域）

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

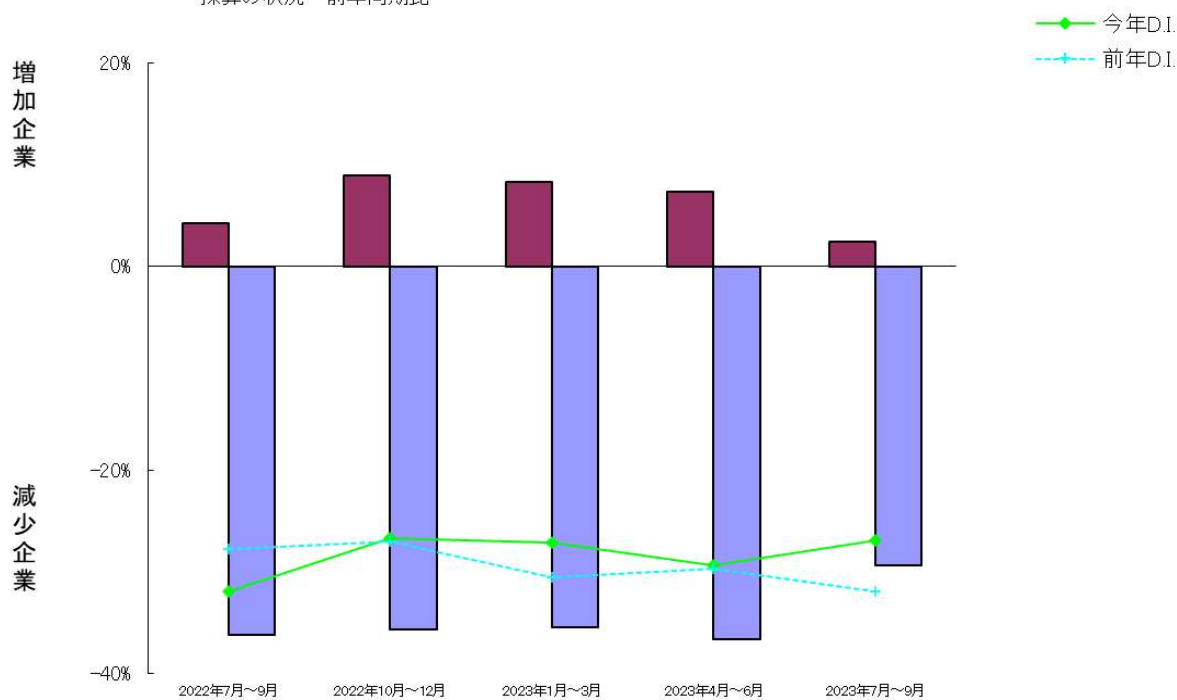
完成工事額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 建設業

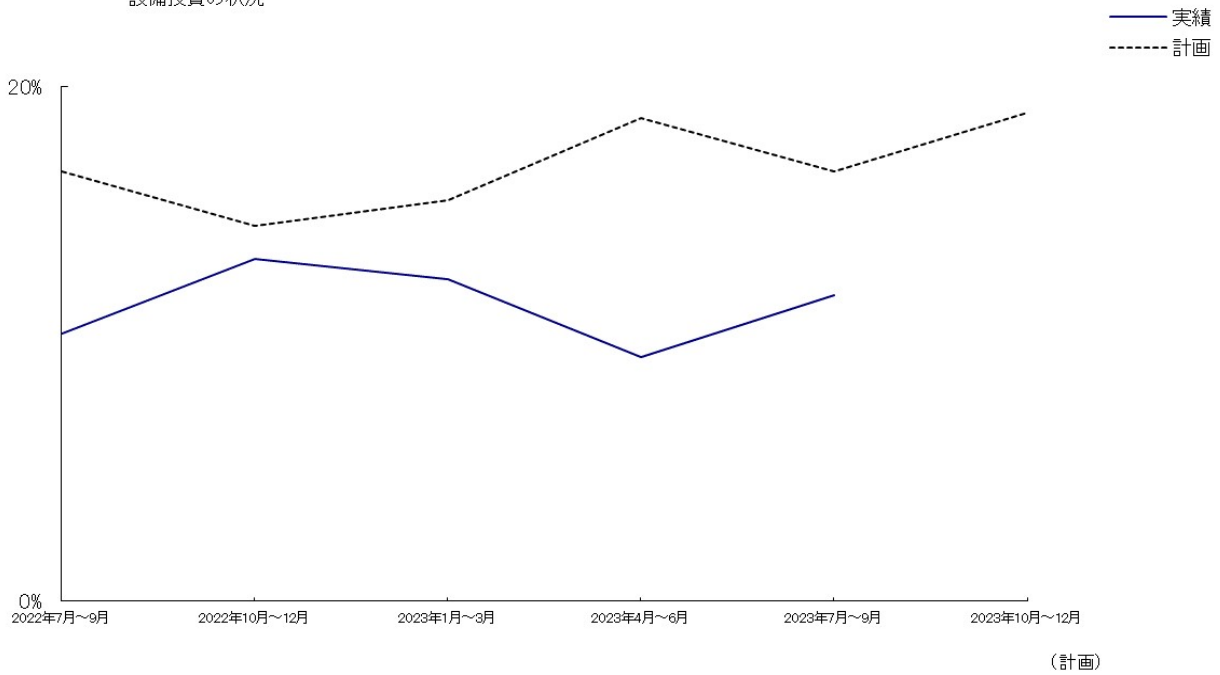
採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島県 建設業

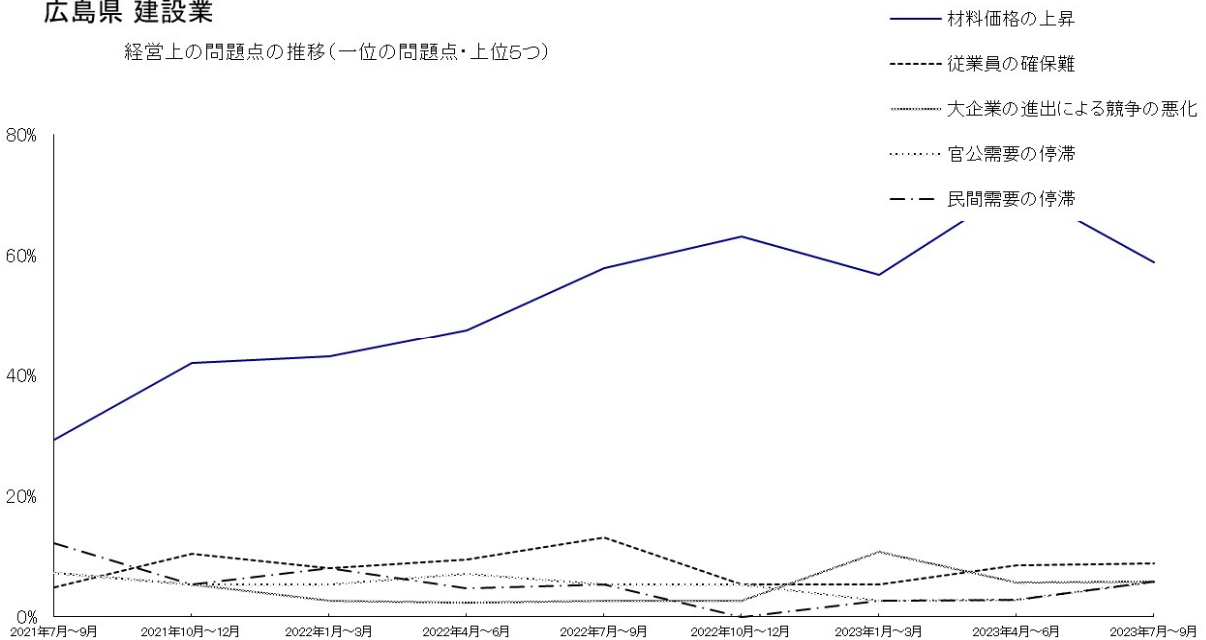
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 建設業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



小売業（商工会地域）

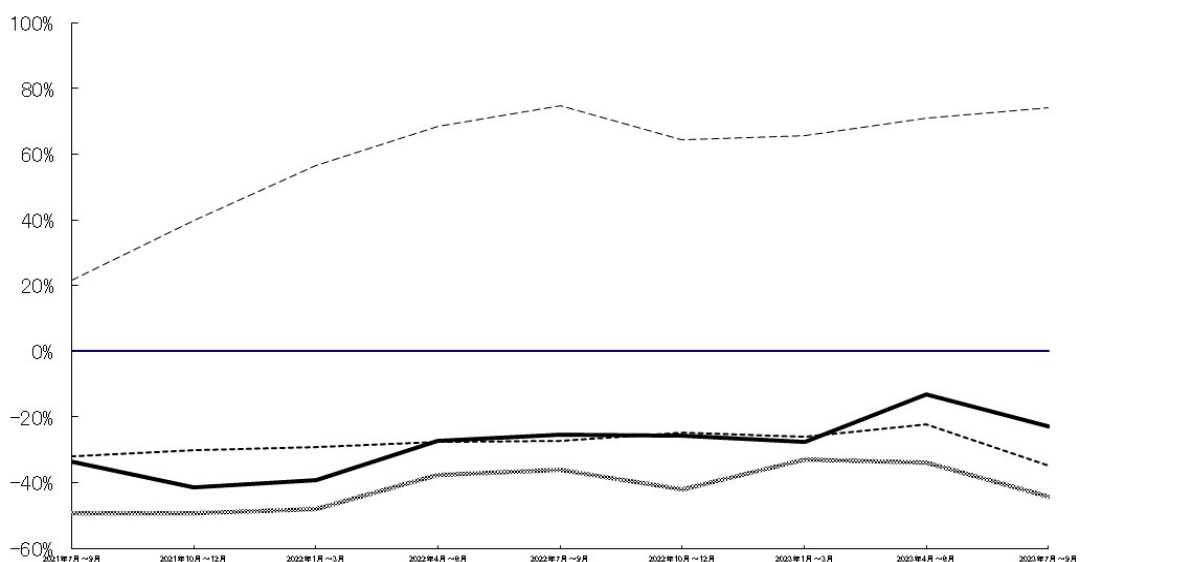
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	小売業 DI		（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	R5.4~6	R5.7~9	前期との比較	R5.10~12	今期との比較			
売上額	-13.0	-22.9	↘	-20.0	↗			
商品仕入単価	71.1	74.3	↗	54.3	↘			
採算	-33.8	-44.1	↘	-35.3	↗			
資金繰り	-22.1	-34.8	↘	-26.1	↗			

広島県 小売業

主要景況項目の推移 - 前年同期比 -

D.1



..... 企業のコメント

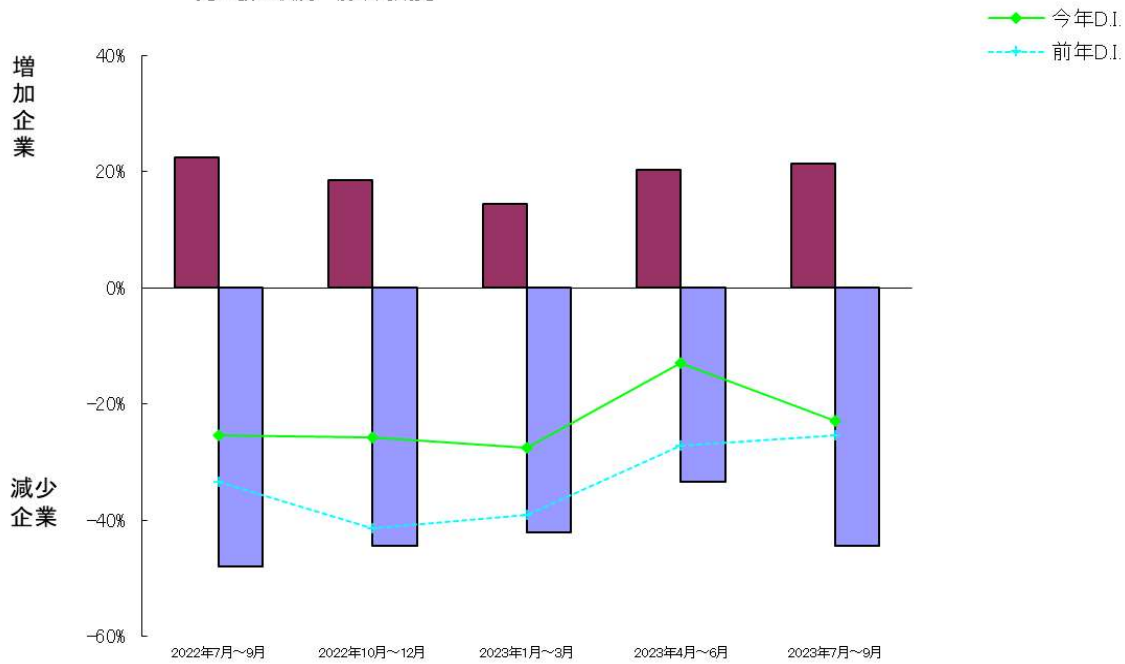
- ・ コロナが明けて売上が戻ってきたのと、コロナ中に販路を増やしたことにより売上は上がってきた。また、これから新商品によりさらに上がる見込み。しかしながら原料や燃料などの高騰が悩みの種である。
- ・ 物価の上昇による、仕入価格の上昇、消費者の買い控えや他地域への流出など、プラス材料がありません。個々の努力には限界があるように思います。
- ・ コロナ自粛も無くなり外出が多くなりましたが、夏期の異常な暑さで、また大雨等の気象状態での売上の減少が多かったように感じます。原料資材の度重なる値上げによる利益低下に頭を痛めているところです。
- ・ 毎日暑い日が続き日中出歩く人も減っている。仕入価格が少しずつ上昇しており、価格転嫁も難しい。
- ・ 仕入単価の高値安定、需要の停滞、今後の人口減少など、あまり需要が伸びる要素が見られない。新たな取組が必要になってくる。
- ・ 今秋冬は商品の値上がりを各メーカーが確実に実行してくる為、お客様が2点買われたものが1点しか買う事が出来なくなると思われる。又は欲しいものが買えなくなる。ネットで安いサイトで買うという事になりそうです

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

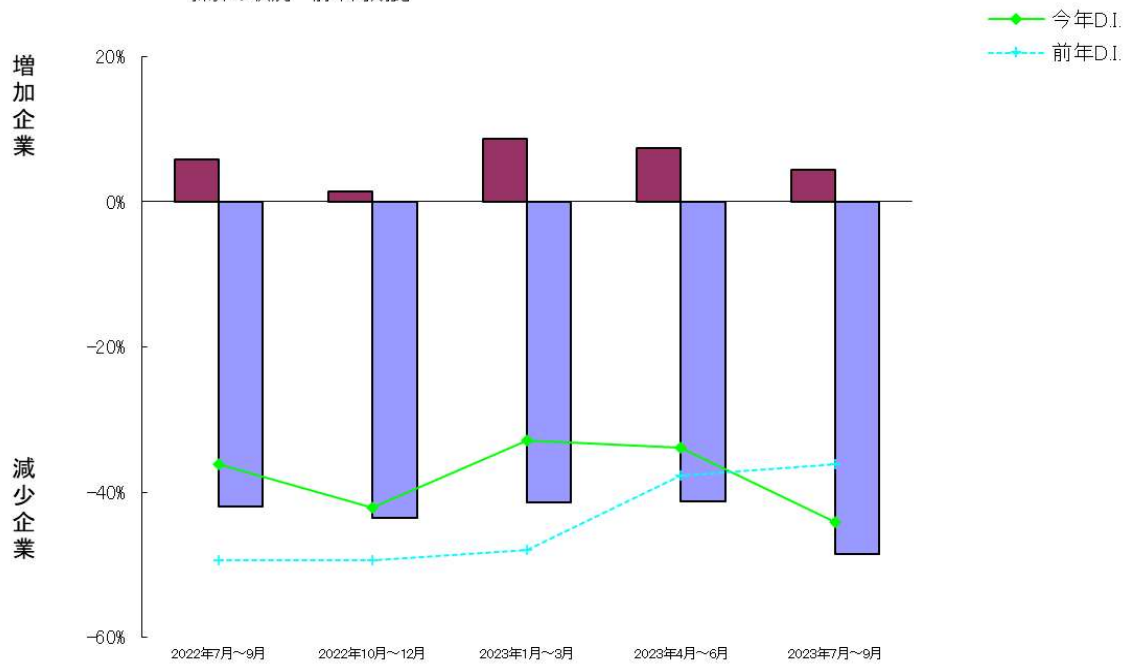
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

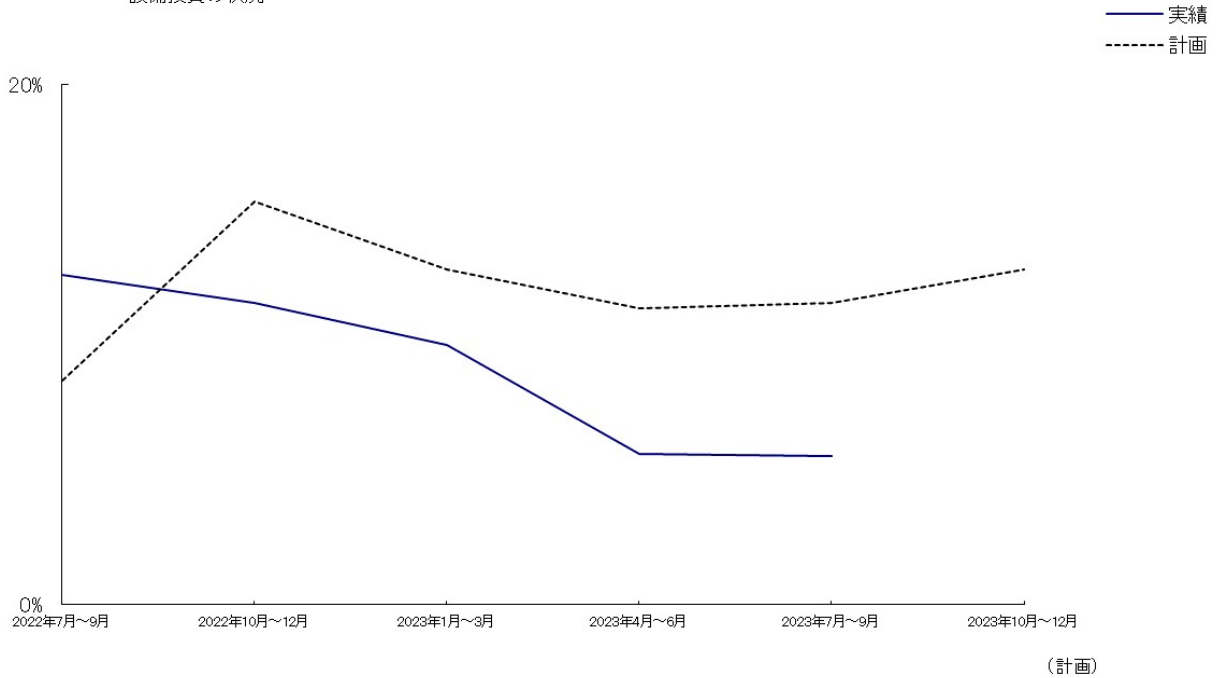
広島県 小売業

採算の状況 - 前年同期比 -



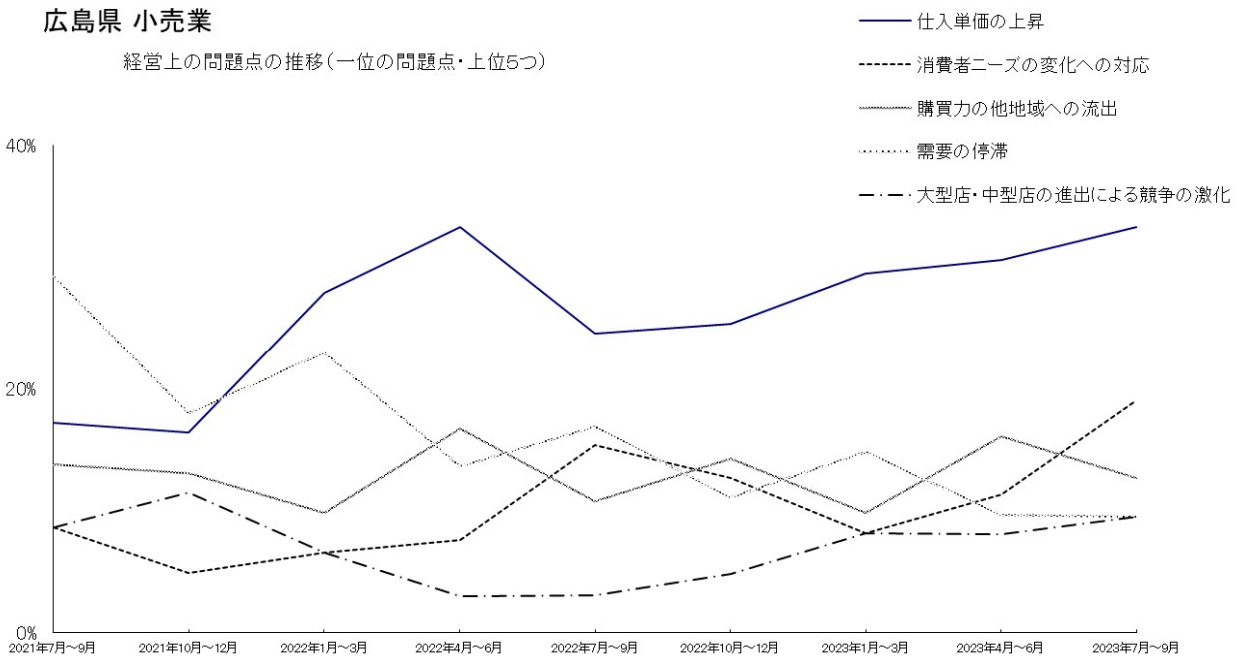
4.設備投資の状況

広島県 小売業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



サービス業（商工会地域）

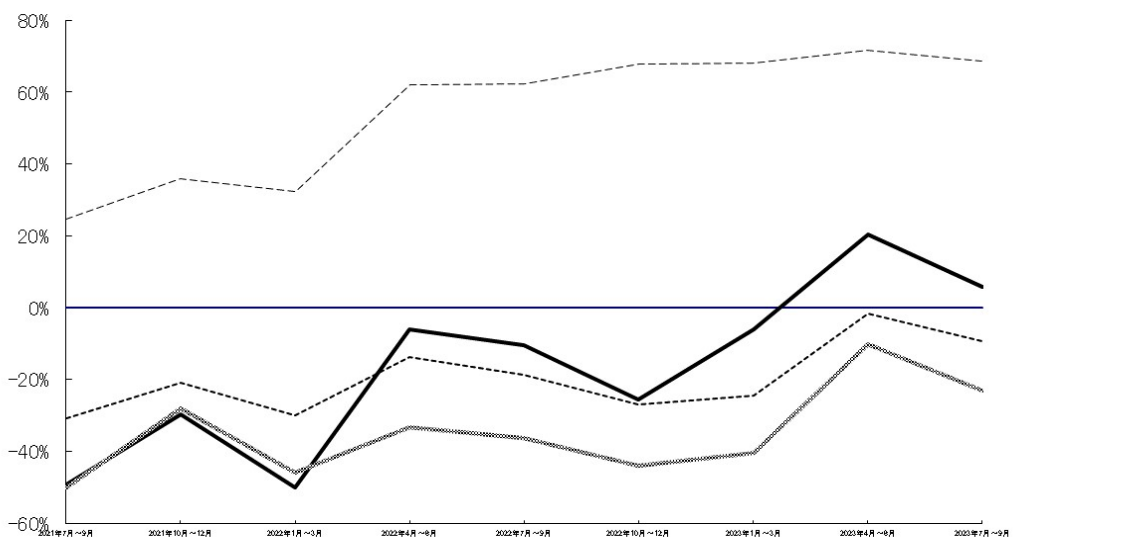
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R5.4～6	R5.7～9	前期との比較	R5.10～12	今期との比較
売上額	20.3	5.8	↓	4.3	↓	
材料等仕入単価	71.6	68.6	↓	64.2	↓	
採算	-10.2	-23.2	↓	-21.7	→	
資金繰り	-1.5	-9.2	↓	-12.3	↓	

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.1



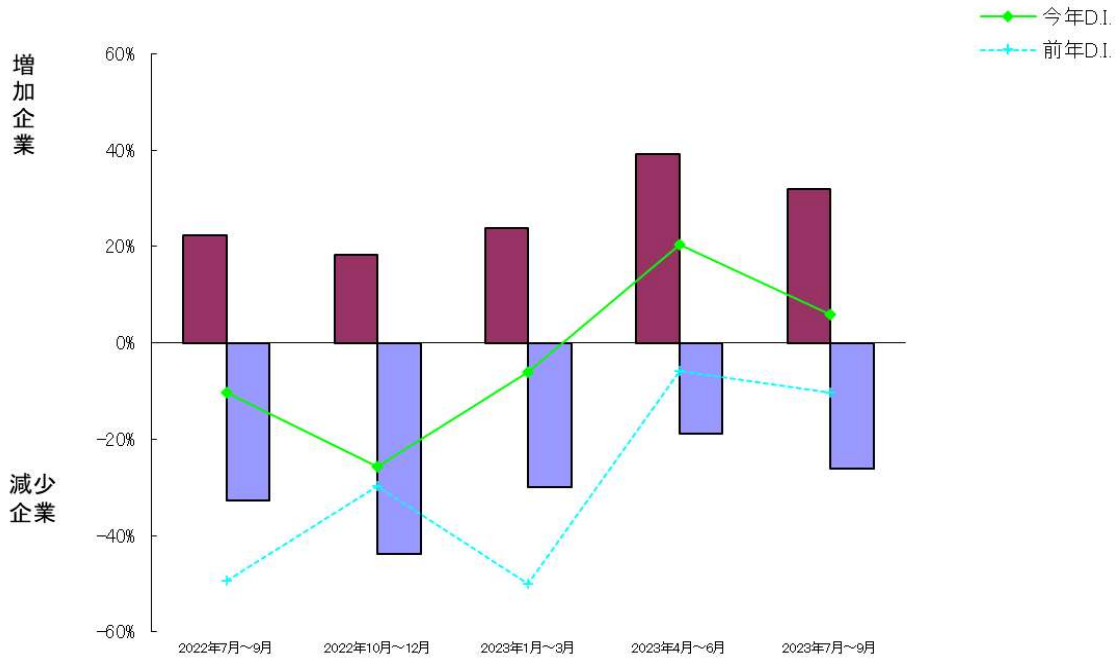
- 企業のコメント
- ・ 燃料価格及び諸経費の高騰により利益を圧迫している。また従業員の確保が継続的に困難である。
 - ・ 売上高は増加しているが原材料価格の上昇により利益率は悪化している。原価率を抑えるために不採算メニューの削減等の手段を取っている
 - ・ コロナ5類移行で人出が戻りつつある。宴会等で売上も上昇。課題は人手不足でサービスが行き届かない。
 - ・ コロナ後の集客が厳しい状況です。加えて電気代・仕入れ価格の高騰・10月からパートの最低賃金の引上げ等、厳しい経営状況が続いている。
 - ・ 値上げを実施した為売上げは上がったのですが、仕入れや光熱費等経費もどんどん上がっていくので、あまりもうかっているように思えません。何か新しい商品を打ち出していきたいと思っています。
 - ・ 乗組員不足だけでなく、修繕、仕入れ、人件費のすべてが上昇してきている。これを解消できない会社は、事業継続自体が危ぶまれる。
 - ・ 高齢化社会に応じた仕事の方法を取り入れ収入減を回避している。訪問美容も行い、出かける事で電気代など店の経費が減少するので何とかバランスが取れているのではないかと。引き続き様々な方法で収入減を防ぐ。

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

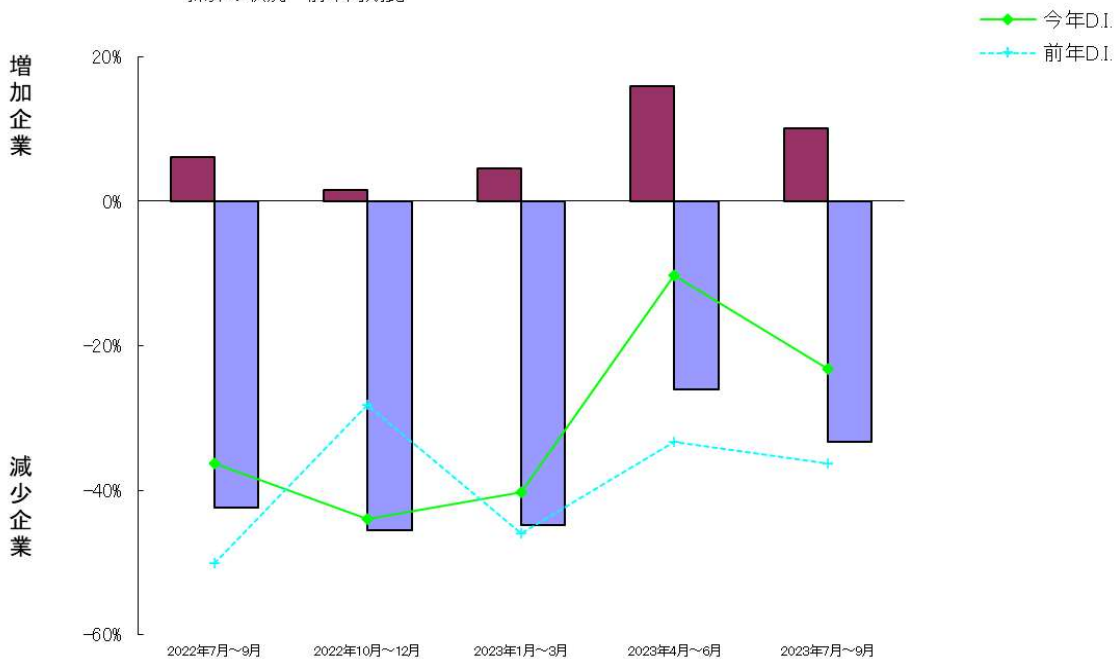
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

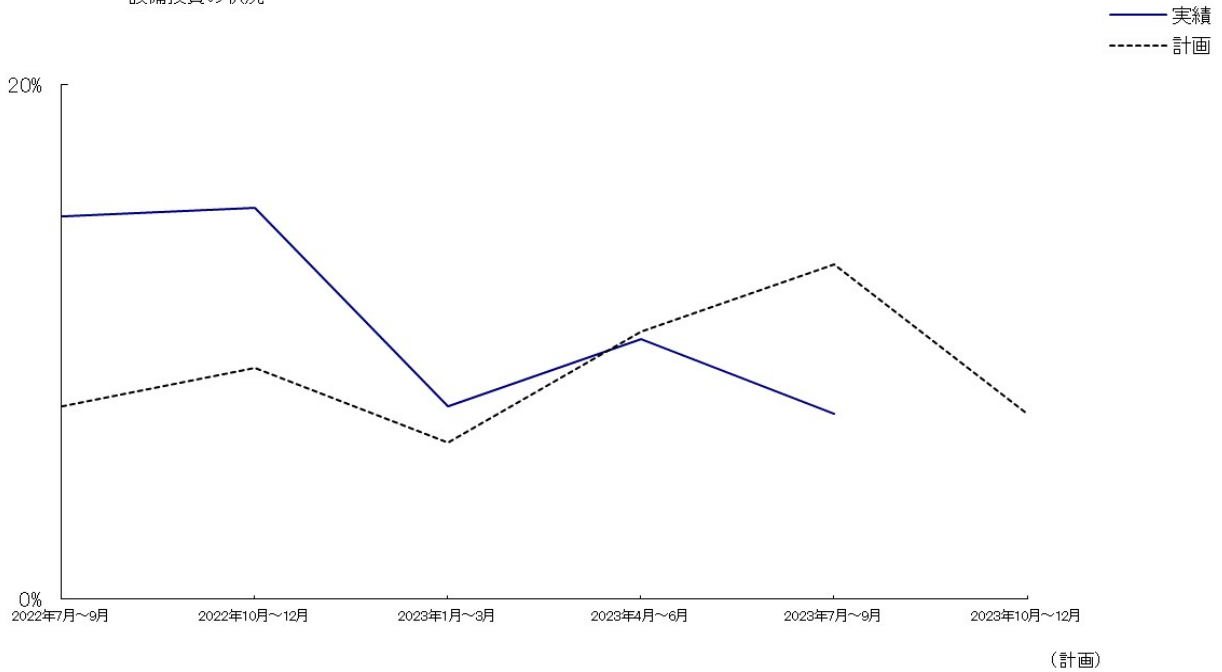
広島県 サービス業

採算の状況 - 前年同期比 -



4.設備投資の状況

広島県 サービス業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 サービス業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）

